

ハイトゲージの製作

特徴

- ・ 精度の高いケガキ線を得るために、優れ物の100均ノギスをハイトゲージに改造した。
- ・ 読み取り精度を1/20mmまでアップさせ、摩耗しやすいベース材には、硬いパドックを使った。
- ・ 簡単な構造ながら実用性は抜群

測定範囲 0～215mm

材質 アルミ、鋼製巻尺、桧&パドック

重量 125g

材料費 約 804 円 塗装 アクアフレッシュ

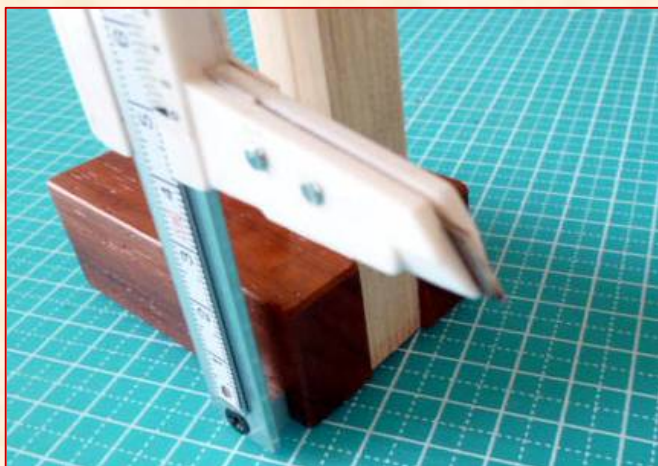
完成：2014年3月

→ 最近、正確な寸法部品を作りたいことが多く、スコヤや差し金で、0.1mm単位を鉛筆でケガキことは殆ど不可能だったのが、これを作ってからでは相対値ながらきれいなケガキ線が簡単に得られます。

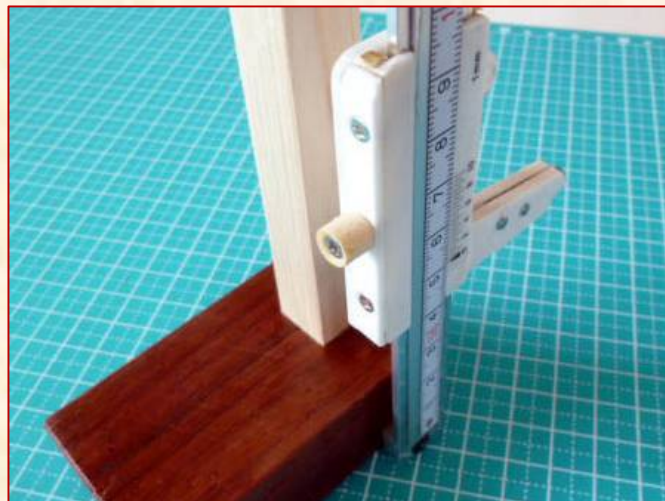


← ピンボケですが、クチバシ先端には、ジグソーのノコ歯（1t）を加工して取り付けているので、硬くて頑丈です。

剛性補強もしてあるので、クチバシをワークに軽く押し当てながら平行にケガキことができます。



↑ ベースはゴミを拾い難いように、硬いパドックを少し座ぐってみました。



↑ ノギスの改造と同様に、目盛には副尺を正確に取り付け、ストップツマミもティーペグの流用です。

裏話

- ・ 最近、巻尺やスコヤ・差し金でのケガキでは物足りないことが多く、案外精度の良い長尺ノギスが作れたことから、ついでにハイトゲージも作ることにした。
- ・ ベース材は比重が大きく硬いものを探していたところ、偶然紅いパドックの端材（¥299）を見つけたので採用してみると、これが結構硬くてグッドチョイスだった。
- ・ 設定範囲は200mmもあれば自分には充分なので、これから大事に使っていききたい特製道具の一つです。